

IIJ、「IT 導入補助金 2022」の支援事業者に採択

-- 「IIJ LoRaWAN®ソリューション for HACCP 温度管理」が補助金対象の IT ツールに登録 --

当社はこのほど、中小企業・小規模事業者が IT ツール導入に活用できる補助金制度「IT 導入補助金 2022」の「IT 導入支援事業者」に選定され、あわせて当社の提供する、食品の温度管理を自動化する IoT ソリューション「IIJ LoRaWAN®ソリューション for HACCP 温度管理」が補助金の対象である IT ツールに登録されました。

IT 導入補助金

「IT 導入補助金」は、中小企業庁の補助金制度で、中小企業や小規模事業者が自社の生産性向上に必要な IT ツールを導入する場合に、経費の一部が補助されます。事前に支援事業者が登録した IT ツールが補助対象となります。

➤ IT 導入補助金については以下サイトをご覧ください。

<https://www.it-hojo.jp/>

今回、補助金対象の IT ツールに登録された「IIJ LoRaWAN®ソリューション for HACCP 温度管理」は、食品関連業界向けの冷凍冷蔵庫や倉庫の温度を自動監視・管理する IoT ソリューションです。温度センサーから、温度データをクラウドに送信する LoRaWAN®ゲートウェイ(無線基地局)、データを保存し可視化するクラウドサービス、およびアプリケーション、通信用 SIM まで、温度管理に必要となる製品とサービスを、運用サポートを含めて一括で提供しています。センサーは電池駆動で電源工事が不要なため、導入から運用まで約 1 ヶ月の短期間で稼働開始することが可能です。本ソリューションの導入で、温度管理にかかる冷凍冷蔵庫巡回業務の作業の負荷が軽減できるほか、温度測定の頻度向上によって、異常が発生した場合のリスク対応が迅速に行えるようになり、事業者の生産性向上に寄与します。

補助金適用の概要

本ソリューションの構成要素うち、データの保管料および温度管理用アプリケーションの利用料が補助の対象となります。

※別途、センサーやゲートウェイ機器等の利用料が発生します。

※補助金の交付にあたっては事前にお客様側での申請が必要となります。

導入事例

- 水産業における食品温度管理
水産加工・販売を行う新生水産株式会社(千葉県船橋市)において、マグロ保管用超低温冷凍庫や冷蔵庫、加工場の温度記録を自動化し、水産加工・販売現場の温度管理作業負荷を軽減。
「マグロ加工・販売の新生水産が冷凍庫の温度管理に IIJ の IoT ソリューションを採用」
<https://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2022/0404-2.html>
 - COVID-19 ワクチンの適正温度管理
ワクチンを保管する専用冷蔵庫を遠隔から温度確認し、異常温度を検知した場合にはメール通知で検知。LAN の敷設や電源工事が不要なため、職域接種開始に合わせて早期導入を実現。
- 「IIJ LoRaWAN®ソリューション for HACCP 温度管理」については、以下サイトをご覧ください。
<https://www.ij.ad.jp/biz/haccp/>

IIJ では今後も、お客様の業務効率化、生産性向上につながる IoT 関連サービスやソリューションの開発、機能拡充を進めてまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※ 本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。